

講義名	社会開発論			
担当教員	的場 竜一			
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 4時限	授業形態	講義	
履修開始年次	3年生	単位数	2	備考

主題と概要

本講義ではアジア新興国の社会開発について、とくに中国を事例にしながら考えていきます。アジア諸国は大きな経済成長をみせていますが、その裏では格差の拡大、教育の未定着、社会保障制度の不備、少子高齢化問題など様々な課題を抱えています。日本と比較しながら新興国の社会開発のあり方を検討していきます。新聞記事や映像資料などを用いて具体的なイメージを持ちながら講義を進めていきます。

到達目標

- 1 社会開発とはなにかを理解できる。
- 2 アジアにおける社会開発の様々な事例を理解できる。
- 3 経済成長に伴う負の側面を考察することができる。
- 4 社会開発について自分なりの意見を持つことができる。

提出課題

毎講義でコメントカードの提出を求めます。また講義の進捗状況によってはミニテストを入れることがあります。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

コメントカードについては、質問等を記入してもらい、次の講義でなるべく質問に答えるようにしています。また、優れたコメントがあれば匿名にて適宜紹介し、社会開発についてどのように考えるべきかを検討します。

評価の基準

受講態度やコメントカードなどの平常点40%、レポートおよび定期試験60%とし、総合的に判断します。

履修にあたっての注意・助言他

新聞記事の紹介や時事問題の解説などをおこなうので、日常的にニュース等に関心を持つことを心掛けておいてください。

教科書				
.使用しない.				

プリント資料及び参考文献

毎講義でプリントを配布します。参考文献は適宜紹介しますが、以下を推薦します。
 遠藤環・伊藤亜聖・大泉啓一郎・後藤健太郎『現代アジア経済論 「アジアの世紀」を学ぶ』有斐閣、2018年。
 橋田浩史・三崎恒平編『中国の日系企業 蘇州と国際産業集積』慶應義塾大学出版会、2021年。

授業計画

1. イントロダクション
2. 社会開発とはなにか 中国の経済成長
3. 社会開発とはなにか 中国の自動車、IT、人工知能、ロボット、自動運転
4. 社会開発とはなにか 中国の抱える課題、格差問題、教育問題、少子高齢化
5. 社会開発とはなにか 発展途上国とはなにか
6. 格差と貧困 貧困とはなにか
7. 格差と貧困 現代学生の取り組み
8. 格差と貧困 解決のために
9. 中間試験
10. 中間試験の振り返り
11. 経済成長と公害問題 日本の公害問題
12. 経済成長と公害問題 中国の公害問題
13. 社会開発と経済開発 社会開発の必要性
14. 社会開発と経済開発 だれが社会開発の担い手なのか
15. まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

○ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習はとくに必要としませんが、国際情勢などに関するニュースを積極的にアクセスしてください。復習は講義毎に90分を目安とします。配られたプリントと講義中の発言をメモし、復習の際にはしっかりと目を通してください。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

目標を達成することで社会の仕組みや制度を理解し、また自分なりの生き方考えることができるようになります。そしてこれからの人間社会の展望を示すことができるようになります。また、フィールドワークといった実証的な調査の重要性を学びます。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

双方向授業を実施する場合は、Zoomなどを用いたリアルタイム授業を行います。通信環境などに不備がある場合は、相談に応じますので、必ずご連絡ください。

実務経験の有無及び活用

備考